

日本市民スポーツ連盟公認イヤーラウンドコース

斑鳩寺コース 13km

網干コース 20km

●基地:スポーツオーソリティ姫路大津店

〒671-1146 姫路市大津区大津町2丁目5番

イオンモール姫路大津 2F

TEL 079-230-0450

●主催:日本市民スポーツ連盟

●協力:兵庫県ウォーキング協会

〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4-1-6

神戸市生涯学習支援センター北棟4F

TEL 078-251-0114

コース色区分

- 20・13kmコース (Blue line)
- 20kmコース (Black line)
- 13kmコース (Green line)
- 13km別コース (Dashed Green line)

せっかいじんじや
石海神社・宮本武蔵
祭神は舎人親王(とねりしんのう)。創立年月日は不詳ですが、楠の大木が生茂り、古灯笼や拝殿の絵馬が歴史を物語っています。本堂は明治32年(1899年)の再建です。舎人親王は日本書紀の編集者です。宝暦12年(1762年)に完成した地誌「播磨鑑」に当時、宮本武蔵が太子町宮本村で生まれたと記されています。晩年の武蔵が著した「五輪書」に、自ら「生国播磨の武士・・・」としています。

斑鳩寺
聖徳太子浪漫の香り漂う名刹法隆寺領播磨国嶋中核として創建された霊刹。仁王門・講堂・聖徳殿・三重塔等伽藍配置は法隆寺によく似ています。太子会式、春会式は毎年2月22・23日の聖徳太子の命日に行われる縁日法要です。聖会式は毎年8月21・22日に行われる先祖供養の施餓鬼法要です。

龍門寺
開山の盤珪永塚(1622~93)は、地元浜田の出身で17歳で出家し、厳しい修業を重ねた後に「不生禅」を説いた江戸時代初期の禅僧。その間、長崎から江戸まで各地を行脚し多くの人々の帰依を得て開創した寺は47ヶ所に及ぶ。のちに「禪師」と「国師」の称号をおくられた、当寺は、盤珪国師の根本道場で、丸亀藩主京極高豊と地元網干の豪商灘屋の3兄弟の援助により、寛文元年(1661)に創建された播磨屈指の禅宗寺院、主要伽藍は江戸初期から中期の建物で、創建当時のようすを今に伝えている。龍門寺の指定文化財
県指定
木造千手観音立像
木造釈迦如来坐像
木造聖観音立像
市指定
龍門寺伽藍内建築 17棟
盤珪国師関係資料 103点
龍門寺大方丈換除 43面

よんじまつ
四寺の松
かつて龍門寺の門前どおりは、「浜街道」と呼ばれ、松並木道であったが、昭和十三年頃の害虫によって松並木は、消滅してしまっ。しかし、道路整備と共に大門前には、開山盤珪禅師ゆかりの江戸光林寺・伊予如法寺・肥前雄香寺・播磨の当龍門寺を象徴する四寺の松が植え継がれている。往昔この下馬所には、参来の駕籠や乗馬が留められて、茶店があった。

うすきはちまん
魚吹八幡神社
播磨国土記には宇須伎津という古い名が記されており、この名が魚吹八幡神社として残されています。10月21・22日に行われる秋季例祭風流は江戸時代の祭礼の特色をよく残す県下最大の希望の祭礼で県の指定重要無形民俗文化財です。

大覚寺
大覚寺は興浜にある浄土宗の寺です。余子浜村にあった釈迦堂を1233年に真言宗の光接院として開いたのが始まりで、1556年に今の地に移って大覚寺と改め浄土宗となったといわれています。境内は広く海に面していたといわれています。2年に1回大覚寺秘宝展が秋に開かれます。

